

# 教職員がいきいきと働き、よりよい教育を目指して ～学校における働き方改革取組方針より～

竹原市教育委員会・竹原市小学校長会・竹原市中学校長会・竹原市立学校PTA・竹原市コミュニティ・スクール連絡協議会



公教育の要である教職員を取り巻く環境は大変厳しい状況となっており、  
教職員が日々いきいきと児童生徒に向き合うことができるよう、教職員を取り巻く  
環境を改善することが喫緊の課題となっています。

## 教職員を取り巻く環境

### 【いじめなどの課題が増加】

- ◆いじめの発生件数や重大事態の発生件数の増加
- ◆ネットトラブルなど新たな課題対応の増加



### 【厳しい勤務実態】

- ◆平均時間外在校等時間は、地方公務員の一般行政職の約3倍
- ◆メンタル不調を訴える教職員が急増
- ◆教員のなり手不足、臨時講師等の確保困難

## 教職員が児童生徒にもっと向き合えるようにする必要があります！

- 取組の指標
- 児童生徒と向き合う時間を確保する
  - 時間外在校等時間を縮減する
  - 教職員の働きがいを高める



### 学校

- ◆勤務時間管理の徹底
- ◆定時退校の推進
- ◆標準を大きく上回る授業時数の見直し
- ◆校務DXの推進
- ◆学校運営協議会の仕組みを活用
- ◆教職員のメンタルヘルス支援等



### 国、教育委員会

- ◆地域・保護者への広報
- ◆部活動の地域展開等を推進
- ◆市費による学校支援スタッフの充実
- ◆自治会や地元企業・団体等への協力要請
- ◆自治体全体で取り組む体制づくり等



## ご協力いただきたいこと

- ✓ 学校行事や授業時数、業務の見直しへのご理解
- ✓ 学校以外が担うべき業務の役割分担見直しへの協力  
(登下校の見守り、学校ボランティアへの参加 など)
- ✓ 学校へのご相談やお問い合わせは、定時内で  
(過度に長時間のご相談はお控えいただくこと)

